

オープンプラットフォーム会議Vol.3 一言カード

No.	内容
1	別府には多様な国籍、言語、文化を持つ人々がいますが、それを混ぜて、それが混ざっていくような機能？しくみ？を図書館に持たせられませんか。
2	別府鶴見丘高校2年の樋口です。 図書館の完成時、私は別府を離れていると思います。これから入学してくる後輩たちのために、勉強スペースを創っていただきたいです。立ち寄りやすい空間ができれば、図書館が活気づくことかと思います。よりよい別府のための、ご尽力をお願いします。
3	別府市は、自然環境だけでなく医療と福祉が整い、大学も3校あるなど生活環境も充実した街です。国も福祉、医療、障がい者福祉政策については、約10万人の人口のまちに国立の医療さらに就労支援センターなど設置しています。 今回の図書館の図書整備など、障がい者施設(例えば太陽の家など)でも十分可能と思われるので、地元の書店と協力して運営してはどうかと考えます。
4	・図書館とアートをつなげる必然性を感じられない。 ・アートに必要なのは、「空間」であって図書館ではない感じがする。のっかっているだけな感じ。美術館にも図書館にもよくない感じがします。
5	図書館機能の優先順位は？なんと考えるか？
6	伝統あるすばらしさを生かして大切に作るコーナーも重要に考えていただければよいと思います。 これまでの集まりに対し、美術協会が知らなかったことは残念でした。
7	新しい形の図書館構想は素晴らしいと思います。しかし、当初は「図書館・美術館」構想であったはずが、いつの間にか美術館という言葉が消えているのは悲しい。市長からは、美術館という言葉が出たが、市民から見れば本日の資料もそうであるが、市の真意が伝わらないと思います。 本を活用したスペース(体験の場)をさらに一歩進んで発表の場でもあってほしい。
8	歴史的な作品や、アカデミックな作品を展示する美術館も必要だと思うけど、美術・図書館、両方併せ持つ空間は魅力的だと思うし、生活の匂いのするものにしたらよいと思う。 垣根のない空間であれば、障がい者も利用しやすい。 静かにしないといけないのは、すごく苦痛です。
9	・障がい者の方が使いやすい施設イコール全ての人が使いやすい。 ・オープンプラットフォーム会議1回目、2回目では福祉の視点が入っていませんでしたが、今回福祉が入ってきた経緯を知りたい。 ・スマホ(インターネット)時代に、手元ですぐにいろんなことがわかる時代に、そこまで図書館に行く必要性、行きたいと思える図書館とは？
10	本日の話を聞いていて、美術館という通常概念に縛られない創作活動をする(これからも含め)全ての人のための施設になればよいと感じました。 創作者を「みつけ」、「育み」、「広め」、「体験できる」ようなものになればと思います。
11	図書館司書さんにしても、学校司書さんにしても待遇があまりよくないと聞きます。別府の図書館や美術館には専任の司書さん、学芸員さんが生きがいをもってお仕事できる場所となることを希望します。(臨時やパートではないということです。)
12	ユニバーサルデザインの泊まれる図書館

No.	内容
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入口が2階で入りにくかったり、構造上の関係で暗いといったイメージからどのように変わるのか楽しみです。</li> <li>・ディスカッションができる場や、ホワイトボード等小授業ができる場など、図書館によって様々な場が設けられているところが増えていますが、新しい図書館が現在設けようとしている予定のスペースは何がありますか</li> </ul>
14	<p>今回の図書館・美術館、福祉というテーマだが、内容は結局公民館とどう違うのか。公民館ではなぜできないのかという内容ではないのか。</p>
15	<p>(運営ほかについての要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入所蔵図書選定は、市民と専門の有識者を交えた選定委員で行ってほしい。選定基準の指針なども、この委員会で定め、常に市民の声を聴いて更新してほしい。(関連なき民間事業者に選定を丸投げすることは厳禁だと思います。)</li> <li>・文化財や図書のキュレーターを養成する学術講座を持っている別府大学の教職員と学生たちに日々の運営に関与してもらい、学生たちには単位付きの授業として頑張ってもらえるような仕組みを工夫してもらいたい。</li> </ul> <p>(ハード面での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の在り方、立地について、工夫や別府の文化の歴史、〇〇というようなものが生かされていないと思います。</li> <li>・既存公共施設だけでなく、民間遊休施設の活用を改めて検討してほしいです。特に美術館については、別府駅裏の旧野口病院の活用が可能であるならば、これは別府にとって「レジェンド」になると思います。東京都美術館との連携も夢ではありません。図書館と美術館を併設可能な床面積もあると思います。※ただし、野口病院さんとの協議が必要な案件とはなります。</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アールブリュットについて、定義をより詳しく聞きたい。</li> <li>・そもそも、アートや芸術に、障がい者と健常者の垣根はあるのでしょうか。</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイヤー型のプランを採用する方向のようですが、具体的なプランはいつごろ発表されるのでしょうか。</li> <li>・その時に、美術館とのつながりはどのようになるのでしょうか。</li> <li>・美術館は既存のままではとても良い状態とは言えません。工事費の中に、リノベーションの費用を含んでいるのでしょうか。</li> <li>・今後のスケジュールは、いつ頃わかるのでしょうか。</li> </ul>
18	<p>(運営について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた職員、館長をどう採用し、準備を進めるのか話してほしい。</li> </ul> <p>(設計について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすや高齢者のために、広い通路と低い書架、しかも豊かな蔵書</li> </ul>
19	<p>今回の建設計画は行政からの上意下達の計画のようだ。市民の意見(少数に限られた市民の意見では困る)を、もっと時間をかけて取り入れるように。</p> <p>図書館(あるいは美術館)の職員の身分は、臨時や非常勤、パートではなく、正規を保証していただきたい。司書は経験が大切である。</p> <p>外部の業者(ツタヤとか)に図書運営を任せることは、絶対にやめてほしい。</p>
20	<p>トークが、具体的なイメージが持たなくてふわっとしたイメージの中で話し合っているのが、どこへ向かって、何のために話し合っているのかがわかりませんでした。今現在の別府の図書館・美術館の問題点と良い点を提示した後にそれに対するトークをしないと、ただ、楽しく新築トークをしているようにしか感じられません。無いものからすべてをたてなおすのではなく、現在の状態からの展開や成長という点をもって今後の会議内容として企画されることを望みます。</p>

No.	内容
21	<p>「参画」は「できることがある」、「こういう部分に力を貸す」だと思う。これは何ですか？何を市民にしてほしいのですか？</p> <p>「イメージを共有する」参加者や市民が共有する「イメージ」はだれが作って提示するのでしょうか。もし、「みんなで考えて、みんなで作る」というのであれば、いろいろなものが出てきて、全部かなえるのは無理だと思うのですが、本当に「みんなで作る」はできるのでしょうか。オープンプラットフォーム会議で参加者に何を考えてもらうか、どうかかわってもらうかがいまいだと思います。</p>
22	<p>別府市には、移住アーティストが大勢おり、メディアにも取り上げられる。美術館だけでなく、図書館とアーティストがつながるのであれば地元にも才能あふれるアーティストはいると思いますので、目を向けてほしい。</p> <p>別府市は「福祉のまち」と言われながら、「障がい者アート」には関心が薄い。反応がない。なぜでしょうか。海外アーティストよりも、より身近なアーティストに目を向けてほしいですね、山出さん。（美術館が実現するのであれば・・・）</p>
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の方が使いやすい施設イコール全ての人使いやすい</li> <li>・オープンプラットフォーム会議1回目、2回目では福祉の視点が入っていませんでしたが、今回福祉が入ってきた経緯を知りたい。</li> <li>・スマホ（インターネット）時代に、手元ですぐにいろんなことがわかる時代に、そこまで図書館に行く必要性、行きたいと思える図書館とは？</li> </ul>
24	<p>図書館建設の具体的な予定をお聞かせください。建設着工と完成の予定、それに伴う司書や蔵書の準備計画はいつごろから始めるのか。</p>
25	<p>眠っている重要な資料とか、豊富な図書などを寄付したい人、売却したい人多いと思うので、公募してはいいかがでしょうか。よく邪魔なので焼いたというようななんとも惜しい話を聞きます。</p> <p>「どんな図書館にするか」も公募することで、ユニークなアイデアを得られるかもしれません。</p> <p>とかくハードのことに偏りがちですが、ソフト面も大いに語り合ってほしいです。</p>